

報告書抄録

ふりがな	しげずみいせきだい9ちてん
書名	重住遺跡第9地点
副書名	宅地造成（重住二丁目）に伴う埋蔵文化財調査報告
巻次	
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第617集
編著者名	中村利至久
編集機関	(公財) 北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室
所在地	〒803-0816 北九州市小倉北区金田一丁目1番3号 TEL 093-582-0941
発行年月日	西暦2023年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しげずみいせき 重住遺跡 だい ちてん 第9地点	ふくおかけんきたきゆうしゅうし 福岡県北九州市 こくらみなみくしげずみ 小倉南区重住 ちようめ 二丁目	40100		33° 51' 17.65"	130° 53' 24.45"	20200624) 20200709	162.5	宅地造成（重住二丁目）に伴う埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
重住遺跡 第9地点	集落跡	弥生時代 古代 中世 近世	溝状遺構 土坑 ピット 遺物包含層	弥生時代～近世の土器、石器、須恵器、瓦器、瓦質土器、輸入磁器、国産陶磁器	

要約	<p>重住遺跡第9地点は複雑に開析された台地先端の谷地部分に位置している。調査の結果、遺物包含層と基盤層上面に設けられた溝状遺構、土坑、ピットを検出した。遺物包含層のうち、Y1層は中世後半～近世前半頃の堆積であり、Y2層の堆積もそれに遠くない時期が想定される。</p> <p>各遺構の廃絶時期については、弥生時代以降、古代以降、中世以降のものがあるが、それ以上に限定させることは困難である。その具体的な変遷過程については、周辺域での調査事例増加をまって改めて検討する必要があるだろう。</p>
----	--